



御正忌報恩講

ご門主法話(抜粋)

世界で最初の新型コロナウイルス感染症による死者が確認されてから一年がたちました。新型コロナウイルス感染症により、お亡くなりになられた国内外のすべての方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、罹患されている皆さまに心よりお見舞い申しあげます。また、治療・対策にあたられている医師、看護師をはじめとする医療従事者の



季刊

覚法寺

〒862-0956 熊本市中央区水前寺公園1-25 電話(096)383-4874 FAX(096)383-3050 kakuhouji@eagle.ocn.ne.jp http://www.facebook.com/kakuhouji

方々、ライフラインの維持に努めておられる方々に深く敬意と感謝を表します。

さて、これまで本願寺での報恩講は、全国から多くの僧侶、寺族、門信徒の方にご出勤ご参拝いただき、おつとめしてきまされた。御影堂の親鸞聖人の御真影の御前で浄土真宗のみ教えを聞き、ご参拝の皆さまとともに報恩のお念仏を称えるという、まさに私が阿弥陀さまのおはたらきに出遇うことができたことを、いつも以上に味わわせていただく喜びの時間でありました。

しかし、今年はその縁を持つことができず、特に緊急事態宣言発出後は皆さまに御影堂でゆつくりとご参拝いただくことができなかったことは、誠に遺憾に堪えません。諸行無常の世を生きる私たちであることを改めて実感するとともに、親鸞聖人が『教行信証』に書かれている「ああ、弘誓の強縁、多生にも値ひがた

ご本尊は本山からお迎えしましよ

ご本尊についてのお問い合わせ

参拝部 ☎075(371)5181 まで 覚法寺 ☎096(383)4874 まで

く、真実の浄信、億劫にも獲がたし。たまたま行信を獲ば、遠く宿縁を慶べ。もしまたこのたび疑網に覆蔽せられれば、かへつてまた曠劫を経歴せん。誠なるかな、撰取不捨の真言、超世希有の正法、聞思して遅慮することなかれ」(註釈版聖典一三二ページ)とのお言葉が深く胸に迫ります。しかし、どのような状況にあつても、これからも阿弥陀さまのおはたらきを聞き、お念仏の中に日々を過ごしてまいります。

なお、宗派、本願寺、築地本願寺や全国のお寺では、パソコンやスマートフォンを利用してみ教えをお伝えしたり、法要にご参拝していただく取り組みも行っていますので、ご自宅でも浄土真宗に触れていただく機会にしたいいただき、また、ご縁ある方へもお勧めいただきたいと思ひます。

住職雑記

四月に毎年「花まつり子ども会」を開催しております。花まつりはお釈迦さまの誕生を祝う行事です。毎年、参加する子どもたちにお釈迦さまのお話を、紙芝居やパネルシアターで紹介しています。今回は、パターチャーラー比丘尼という女性の修行僧のお話を致しました。パターチャーラーは数々の困難な出来事により、子どもも家族もなくしてしまいました。生きる希望を失ってしまった彼女の身を救ったのがお釈迦さまの教えでありました。▼大事なポイント は、お釈迦さま自身が救ったのではなく、お釈迦さまの教え、いわゆるダルマ(仏法)が救ったという事です。そして彼女を救った教えが、生と滅の教えでした。▼般若心経に「不生不灭」という言葉があります。これは「そこに生命が存在しなければ、死はありません」というような、原因と結果の道理を説明しているというより、もつと超えたものの見方を表しています。そもそも生も滅も人間の誤った認識(唯識)にすぎないという事です。▼彼女は「生と滅とを見ることがなく百年生き永らえるより、生と滅とを見通して一日生きる方が、遙かに優れている」と語りました。

覚法寺の納骨について
 現在覚法寺には、境内に旧納骨所、新納骨所(無量寿堂)があり、外に出水納骨所、京塚納骨所があります。
旧納骨所は、熊本地震による傷みが大きく、今度建てかえることになり、新たな受け入れはしておりません。
新納骨所(無量寿堂)は、昨年末、新たに小型区画納骨壇を二十三基増やしました。通常の御骨壺(六寸)が三個まで入れられる大きさで、一区画三十



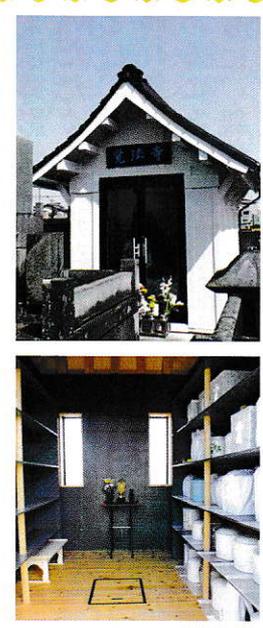
ダーナ基金だより
 日頃よりダーナ基金へのご理解ご協力ありがとうございます。
 二月の「ダーナの日」に一年間の集計をしました。ダーナ募金額は七〇、一四九円集まりました。誠にありがとうございます。今後ともあなたのささやかなお気持ちをどうぞお届けください。
 お寺の本堂入り口に募金箱を設置しております。
 (はちすの会ダーナ基金係より)

令和版
仏の教え
 大谷光淳 著

人生は苦の連続なれど、必ず道は開かれる。
 新しい日常に向き合おうと。
 浄土宗本願寺派 僧正 大谷光淳 著

本堂・納骨堂改築工事について
 季刊誌の前号(新年号)におきまして、覚法寺改築工事について掲載しましたが、四月十六日に役員総代会を開いて、また一歩話が進むと思われまします。覚法寺の境内には、本堂、旧納骨堂、新納骨堂(無量寿堂)、庫裏(自宅)、会館(旧橋本病院)がありますが、このたび、新納骨堂(無量寿堂)だけを残して、他を新しく建て直すことになりました。門信徒の皆様には、一戸当たりどれほどのご協力をお願いするかは、現時点では決まっております。納骨堂をお持ちの方の場合、現在は年間の維持費が三千元となっておりませんが、おそらくこちらも値上げさせていただきますと思っております。しかし、門信徒の皆様ができるだけご負担にならぬように、いろいろな選択肢を設けて、それぞれの事情に合わせて選んでいた

出水納骨所は、無縁の方の納骨所です。
京塚納骨所は、お一人分の御骨壺につき、二十万円以上の懇志となっております。こちらは年間の維持費はありません。
 納骨所ではありませんが、**本堂**で一時預かりをする場合、年間二万円で五年間を目安にお預かりいたします。



万円で年間の維持費が三千元となっております。

当日は「くまモン」もお手伝いに行ってくださいました。
 なんと！くまモンもタコ焼きを焼いて、皆さまにタコ焼きをお配りしていただきました。



芦北町へタコ焼きボランティア
 熊本県南部の豪雨水害にて被災された方々が生活されております、芦北町の女島仮設団地へお伺いいたしました。こちらには六〇戸の住宅がある施設です。この日はあいにくの雨で寒い中でしたが、お年寄りから子供さんまで、ホクホクのタコ焼きで温まりました。



だけるようであればと思います。近いうちには、アンケートによる希望の確認をさせていただきたいと思っておりますので、どうぞご理解とご協力をお願い致します。



**本願寺中央仏教学院
通信教育募集**



入門課程 (浄土真宗や仏教について基本的な学習を目的とするコース)
30,000円(1年)

専修課程 (浄土真宗本願寺派の住職が承認した方で、僧侶の資格取得を目的とするコース)
70,000円(1年×3)

学習課程 (浄土真宗や仏教について体系的な学習を目的とするコース)
60,000円(1年×3)

9月1日開講

※詳細は覚法寺までお問い合わせ下さい。

**許されないままに救われていく
お浄土の世界**

ある五十年代後半の男性の方のお話です。

大切な同僚を自死で亡くしてしまっただけで、何故、自ら命を絶ってしまったのか！俺はあいつを絶対に許さない！だから、あいつの墓参りには行かない！行きたくないんだ！俺はクズや!!こんな俺が警察署長(今季に栄転)になってもいいのか!!と、自分の胸の内を吐露されました。

果たして、ほんとうに自死した大切な同僚を許せないのでしょうか？私はそうだとは思いません。ほんとうに許せないのは、同僚ではなく自分自身ではないのでしょうか。何故、自分はいつが死ぬのをくい止めることができなかつたのか！あいつが命を絶つ前に、いや、もつと早く！何で俺は彼の変化に気付いてあげられなかつたのか！命を絶つ前日まで一緒に居たのに。無二の友達と思っていたのに。俺達は喜びも悲しみも何でも分かち合う関係ではなかつたのか！そういう俺ではなかつたのか！そういう自分を許せない！そういう自分自身を責め続ける！それがあまりにも苦しいから、許せないのは自分自身なのに相手である亡き同僚に転嫁してしまふ。だから！苦しいのです!!辛くて辛くてどうしようもないのです。(深い苦しみや悲しみを真つ向から受け止めることが余りにも辛すぎると、人は時として無意識に責任転嫁してしまいます。それはある意味、無意識の防衛本能です。だから、そこに気づきはないのです。気づけないのです。そして、誰でも起こりうるものなのです。)

まず、大切なのは同僚の方が自死するに至るまでの背景を知ることではないでしょうか。

誰だって自殺なんてしたくないんです!!よくよくの事なんです!!自ら命を絶たなければならぬ程の、深い苦しみがあつたんです!!その思いに気づいたら、亡くなられた同僚の方に心から寄り添うことができるのではないのでしょうか。それが一番大事なことでないのでしょうか。何故ならば、それが、生前の同僚にしてあげたかったことだからです。そのことよって、自らも救われ他(同僚)も救われていくのではないのでしょうか。

さらに、このことを御縁として受け止め、職業柄これから携わるであろう自死問題や様々な犯罪問題に於いてこの経験を生かされるのであれば、それはまた、亡くなられた同僚の願ひであり、お導きと受け止められるのではないのでしょうか。許されなくてもいいんです。許されまいまのこの私を、阿弥陀如来は、われにまかせよ必ず救うぞ と、はたらき続けてくださっています。だから私は、そのお心を疑いなく『南無阿弥陀仏 南無阿弥陀仏』と、お念仏申すことが肝要なのです。

無明長夜の灯炬なり

生死大海の船筏なり

罪障おもしろとなげかざれ (正像末和讃)

阿弥陀如来の誓願は、煩惱に迷う衆生の心を照らす灯火であるから、智慧の眼が暗いかなしむことにはないのです。阿弥陀如来の本願は迷いの大海での安養浄土への救いの船筏です。

(音光寺)



総参拝皆勤賞
 粟津美代子さん
 入江 緑さん
 園田 尚典さん

 2020
 朝のお参りベスト10
 1 粟津美代子さん (365)
 2 入江 緑さん (341)
 3 高野 道明さん (194)
 4 有田 勇さん (125)
 5 園田 尚典さん (56)
 6 川本 さん (52)
 7 荒田 さん (37)
 8 酒井 澄子さん (24)
 9 森川 さん (11)
 9 大塚 さん (5)

子どもたちのお手伝い

二月からしばらくの間、本堂の後ろにて雛壇を設置いたしました。いつもお寺に、お手伝い・遊び・お参りに来る子どもたちが、お飾りをしてくれました。子どもたちの要望により、バスケットゴール誕生！いつもお寺に来る子どもたちの要望で、とうとう設置されました。既製品ではなく、なんと手作りバスケットゴールです。ただし、NBA選手でもダンクシュートできない高さになりました。



覚法寺年間行事予定

- 五月十六日(日) 宗祖親鸞聖人降誕会法要
- 八月十六日(日) 孟蘭盆会法要
- 九月二十二日(水)～二十三日(木) 秋季彼岸会法要

定例法座

毎月十日の午後一時半から三時まで、布教使の先生が来られて、ご法話があります。どうぞお誘いあわせてお参り下さい。(二月と五月はお休みです)

お晨朝にお参りください

四月から朝のお勤めの時間が六時三十分になります。みんなと一緒に『正信偈』をお勤めして、御文章(蓮如上人のお手紙)の拝読があり、短いお話を聞いて、最後に聖歌をうたいます。特に毎月十六日は宗祖親鸞聖人のご命日で、覚法寺では、門信徒総参拝の日にしております。どうぞお誘いあわせてご自由にお参りください。

夕方四時のお内仏のおつとめは、子供たちがしてくれます。いつのまにか重誓偈を覚えてしまいました。

四月からの朝のお勤め(晨朝)の時間が六時半になりました。

寺院仏具修復・納骨堂設計・施工
 (宗教用具専門店) 仏壇・仏具・修復・修理



お仏壇の **合掌**

〒860-0073 熊本市西区島崎5丁目4-37
 (三軒屋バス亭前)

TEL FAX **096 (359) 7720**

趣味の写真集や自分史を
 作ってみませんか?
 1冊よりお作り致します。



PRINTING©

株式会社 **太陽社**

- 企画印刷 〒862-0972 熊本市中央区新大江2-5-18
- 一般印刷物 TEL 096-366-1251
- カラーコピー FAX 096-364-7672
- データ入力



http://www.taiyo-sha.net